

有限会社オガサワラ					
業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	北海道有珠郡壮瞥町	資本金	3,000千円
				従業員数	2名

 	被承継者（左）		
	小笠原 雄司	82歳	※承継時
	承継者（右）		
	小笠原 賢司	47歳	※承継時

事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2018年	3月	子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
北海道壮瞥町（そうべつちょう）の幡溪（ばんけい）地区にて温泉旅館を家族経営。地域の海産物や農産物のお食事を売りにした個人の観光旅行者や建設労働者等の宿泊施設を提供。その他、お食事処や地域の宴会施設としてのサービスも提供。		これまで先代社長が販路開拓した日本人のお客様を中心に営業していたが、顧客の高齢化に伴い来店頻度が徐々に下がり売上が減少傾向にあった。そこで新たな顧客開拓として、外国人観光客や日本人顧客の若返りを図らなければならないと考えていた。	

事業承継を実行するまで			
きっかけは？		承継計画の立案	
承継実行の	5年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	承継までの不安と準備
先代社長が高齢化して認知症の症状が現れたことやフロント業務において来店客とのトラブルも時々発生し、会社経営が難しくなってきた。また、金融機関からも事業承継の話題が多くなっていたことや借入申込の際には現社長（承継者）が連帯保証を求められることから徐々に意思を固めていった。		平成6年温泉旅館開業時に23歳で従業員として入社。その当時から将来は社長になると言い聞かされていたし、自身も将来社長になるのだと意識していました。	開業時から将来は息子に継がせるという意思の基に創業していたので、息子も立派に成長して金融機関とも交渉できる様になっており、あまり不安はなかった。
		関係者との調整	
		金融機関には息子に継がせるということを明確に意思表示していた。その他、地域の経済団体等には息子が顔を出すようにして、自然な形で周囲の理解を求める様にしていた。	承継者の承継に対する不安
			借入過多の状態にあり、このまま返済が滞りなく出来るか不安であった。また、子供の高等教育期間と重なり生活費のやり繰りが出来るかといった金銭面の不安が常にあった。

これに一番苦労した！


先代社長は比較的楽観主義者で長期の将来計画を立てることなく、どんぶり勘定の経営をしており、計画的な経営を行いたい現社長夫婦とは意見の対立があった。また、事業承継の際の株主総会の仕組みや税制面など法的な知識が無く、司法書士や税理士に相談しなければならず、忙しい中時間と手間がかかり苦労した。その他、建物が徐々に老朽化しており、新規顧客開拓のための改修工事をしようか、それとも借入金返済を優先しようか迷っていた。

事業承継について相談したこと	
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	従前から地域の商工会に加盟し、現社長も商工会青年部員として活動しており、商工会の経営指導員とは気軽に相談できる関係にあった。
いつから相談？	また、金融機関との借入交渉の際には、経営指導員に相談会場に同席を願ったり、文字として表現することが苦手だったこともあり資金繰表作成や予想貸借対照表、予想キャッシュフロー表の作成など経営分析から各種提出書類の作成をしてもらったり、事細かに伴走型の支援を受けていた。
承継実行の	その様なこともあり、経営革新の認定支援、販路開拓に向けた専門家派遣、北海道信用保証協会主催の金融サポート会議の開催、事業承継のタイミングや承継時における各種施策など情報提供があり、事業承継補助金申請も含めて適切なタイミングを逃すことなく順調に事業承継を進めることが出来た。
相談のきっかけ	
以前から取引やつきあいあり	

新たな取組の標題

和の演出と快適空間の提供による外国人観光客の取り込み

新たな取組の内容	新役務の開発又は提供
<ul style="list-style-type: none"> ● JR東日本の豪華列車に採用されている桧木風呂の製作会社（長野県南木曾町）と壮瞥町商工会を通して交流があったことから、同社の桧木材を浴室の框（かまち）部分に利用。さらに浴室（浴槽）の古いタイルを張り替えて、雰囲気新たに、檜香る温泉空間と高級感を演出した改修を行った。 ● 日本らしい客室を外国人客に楽しんでいただくため、客室や休憩室の畳を機械すき和紙畳に改修して和空間を演出した。 ● 夏場や湿度が高い日でも快適な空間を提供してサービス向上を図るため、客室や休憩室にエアコンを設置した。 ● 改装された浴室や客室の写真を撮影して、町内向けに新聞折込による告知、月刊情報雑誌への掲載、ホームページによるネット広告など広報活動を強化した。 	
  	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
高度な技術を要しない改装工事は出来るだけ町内や近隣の工務店等に発注しました。また、改装オープン時には町内のお客様を対象に入浴割引を行いました。その他、道内向けのお客様には地元産りんご100%を使用したシードル（りんご酒）をプレゼントし、地域特産品のPRを行いました。	<p>経費の主な使い道</p>  <p>■ 設備費</p> <p>設備費（檜風呂改修費、客室畳替え費、客室エアコン取付費）</p>

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
日頃から経営支援を受けている壮瞥町商工会経営指導員に、事業承継補助金制度の説明から、補助金申請に至るまでの事業計画の作成、補助事業実施中における各種準備事項、補助事業実績報告書の作成に至るまで事細かに支援を受けた。			

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	2024年に開業30周年を迎えます。開業30周年をきっかけに宿の大規模改修を考えており、そのためにも債務償還年数が5年以下になることを目標に努力したい。また、宿泊利用者のネット評価も上げてネット利用の顧客開拓強化を図りたい。
営業キャッシュフロー	10%UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
ビジョンや経営哲学などを固めて、なるべく早めに事業承継の準備に取り掛かることをお勧めします。特に、承継者や承継者の配偶者への配慮を行い健康に留意して進めて下さい。	補助事業が無ければ、ここまで思い切って店舗改装することが出来なかったと思います。地域の支援機関や各種専門家を活用して経営して欲しいですし、補助事業を積極的に活用してチャレンジして欲しいと思います。経営者になったことにより、これまで「やらされている感」から「あれしようこれしよう」と前向きに思えるようになりました。